

そんな環境の中で、子どもたちの中に育つのは

「自信」や「自己肯定感」です。

先生が気にかけてくれる自分
先生が見てくれる自分
やさしくしてもらえる自分
かわいがってもらえる自分

信頼される自分
立派に役に立つ自分

価値ある存在。



他にうまれない自分。

さらに子どもたちはみんな自分の仕事を持ち

でんき
けすよー!!



責任を果たすことを学びます。

一斉下校では、全校児童の前で順番に一人ずつスピーチ!



一年生もがんばります。



みんな緊張しますが人前に出ることに慣れていきます。

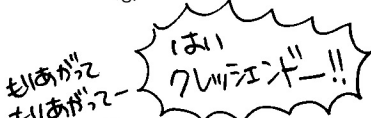
そして三十年の伝統がある「全校合奏」

一年生から六年生まで、全員でひとつの音楽をつくりあげます。

小さい子はけんぼんハーマニカですが。

かなり音楽的なセンスも

要求されます。



先生も児童も、「県音楽祭出場」を目標に、本心に真剣にとりくんでいます。



先生「よしゅれん」

いいですか?」



じゃあ、先生が来る前に一回あわせませう。



みんなが目標に向かって心をひとつにがんばるこの活動は...

音楽を感じる豊かな心

全体の中で自分に役割があることを知る

自分の役割を果たす責任

みんなで協力することの大切さ

積極的にとりくむ自主性

なしたげた時の大きな達成感

多くのものを、子どもたちにもたらしてくれます。

壬生中学校に入ると

いきなり人数が増えるので、羽生田小の子は萎縮してしまうのでは?と、思われがちですが...

むしろ、その逆で



羽生田小出身の子は



役割をひきつづけること、人前に出ることに慣れているので



それがそのまま、中学校生活にも活かされている様子です。



みんな いきいきと中学校生活を送っています。

生徒会の役員



行事の実行委員



委員会、委員長



クラス委員



部活動の部長



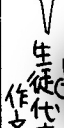
運動会の応援団長



合唱コンクールの指揮者



始業式の生徒代表



羽生田小学校では、こんなふうに子どもたちを育てています。